

地方公共団体との研究会について

○開催の趣旨

専門委員と地方公共団体の実務担当者との間での意見交換等を通じて、地方公共団体からのニーズを汲み上げ、市場化テスト導入にあたっての諸課題を整理・検討することにより、市場化テスト導入の取組みを支援することを目的に平成19年度に引き続き開催。

○テーマ及び運営方法

昨年度の研究会の成果と、現在、地方公共団体が持っている関心事項・問題意識等を踏まえると、本年度は以下の2本のテーマを設定して、研究会としての活動を行うこととする。

1. 窓口業務にかかる実務的な課題について

窓口業務については、今年1月に24事項について整理したこともあり、市場化テスト導入について検討を始める地方公共団体が出てくるなど、市区町村での関心が高い。また、窓口業務について、市場化テストの具体的な事例が創出されれば、他の地方公共団体への波及効果もあると考えられる。したがって、窓口業務にかかる実務的な課題を研究会のテーマとして設定する。

2. 市場化テストの事例研究について

地方公共団体で導入されている市場化テストの事例や市場化テストの導入を検討している地方公共団体の事例を素材として研究会を開催する。

そこで、昨年度の研究会を取りまとめた報告書において、地方公共団体が直面する実務的課題として取り上げた「対象事業の選定」、「質の設定と評価」、「官のコスト」、「モニタリング」等をテーマとして、事例研究を行う。

- ・テーマに関心のある地方公共団体に参加していただき、原則公開で開催。
- ・第1回は7月4日に開催し、どちらのテーマも年度内に5回程度開催予定。
- ・地方公共団体からの事例紹介、専門委員等のプレゼンテーションを交えて、議論を進める予定。